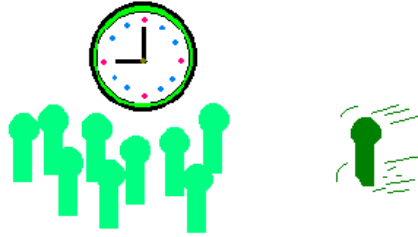


新入生入門

●初心者にまず教えることは？

集団行動や協調性が重視される吹奏楽活動で、初心者や新入部員などに、どの様なルールを教えていけばよいか、また、それをどう分かりやすく伝えるかどうかを皆さんとで考えみましょう。ここでは、その中の幾つかを紹介いたします。

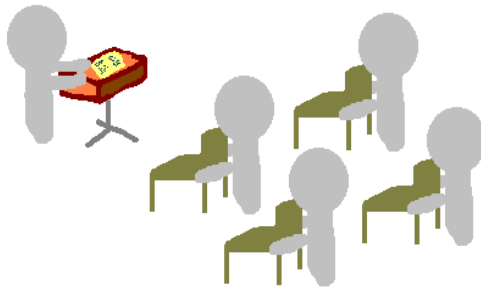
◎時間を常に厳守しましょう。無断で遅刻や欠席すると仲間や先生が心配をするので、遅刻や欠席があるときには必ず連絡をしましょう。



◎演奏の前には体操や、ウォーミングアップをして、フレキシビリティの感じるよい演奏ができる様に、コンディションを鍛えましょう。



◎合奏が始まる前には全員でセッティングを手伝い、イス、譜面台、指揮台、楽譜、筆記用具、小物楽器等、合奏に必要な物をしっかり準備しましょう。



◎活動中の動きは、機敏に迅速に。無駄なことをせず、どんどん仕事をしましょう。早く動けば準備、片付け、積み込み、移動の時間は早くなります。ただし、楽器の近くでは落ち着いて行動しましょう。



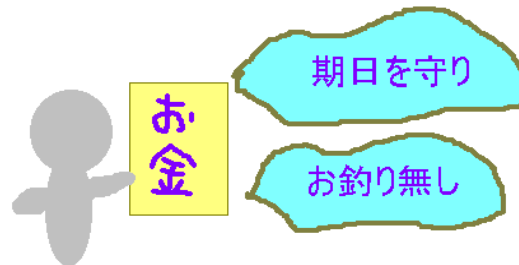
◎指揮者の注意をよく聞いて、理解をしたら「はい」と元気良く返事をしましょう。また、わからない時は質問して詳しく教えてもらいましょう。



◎活動が終わったら早く帰りましょう。先生方も仕事が終わったら早く帰りたいので速やかに施設を出ましょう。遅くなると家族や周りの人が心配をするので、帰りは友達と長話をしたり、どこかへ遊びに行かないでまっすぐ帰りましょう。予定よりも遅くなった場合は、お家に連絡を入れましょう。



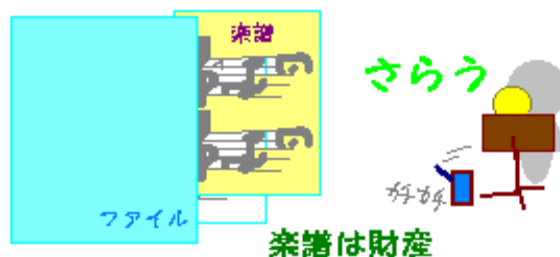
◎部費（団費）や演奏会費などのお金の支払いは期日を守りましょう。また、お金は封筒などに入れてお釣りの無いようにしましょう。



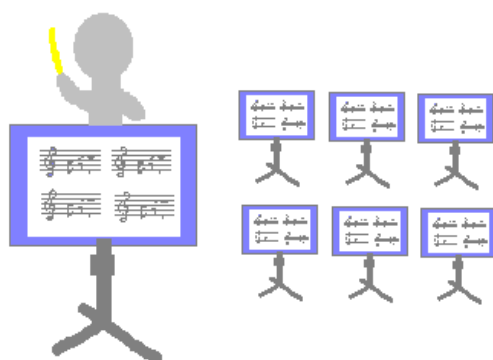
◎健康に注意しましょう。日頃から体を不潔にしたりしないようにしましょう。夜は早く寝るように努力して、練習や演奏会に体調不良で自分も仲間も共に後悔しないように努力しましょう。



◎楽譜を大切にしましょう。ファイルに入れて管理しましょう。また、配られた楽譜は楽譜通りに演奏できるようにさらっておきましょう。



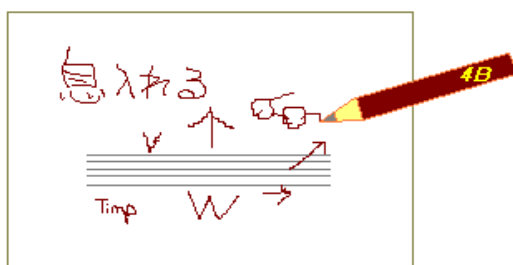
◎譜面台の向きは、指揮者を中心に向けて置きます。譜面台の高さは指揮者の上半身が見えるぐらいに合わせ、楽器ごとに高さを合わせましょう。



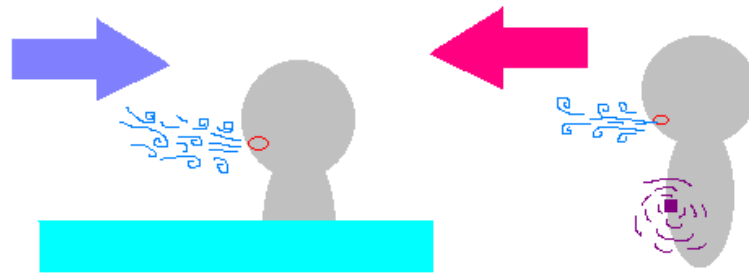
◎合奏中は演奏、指揮、楽譜などに集中して、余所見をしたり、私語をしたりしないようにしましょう。



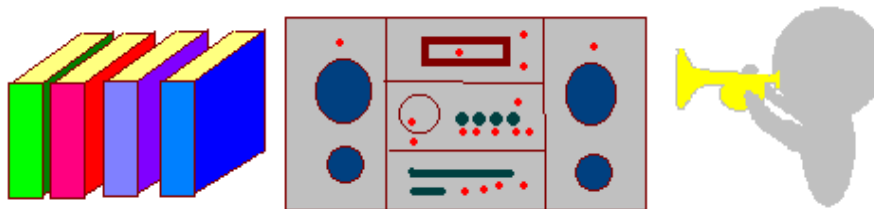
◎楽譜には注意事項や奏法、ブレス、リズムや強弱、テンポなどのニュアンスが分かるようにしっかり分かりやすく鉛筆（4B）で書きましょう。



◎潜水が25m泳げるようなブレスと、お腹で支えているスピード感のある安定した息を出しましょう。



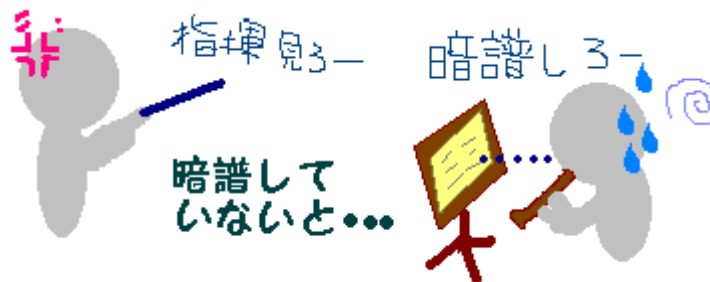
◎音楽をやしなうポイントは、楽譜研究（曲や形式、演奏法、楽譜にある記号等を良く調べる）・音楽鑑賞（練習している曲や色々な音楽をたくさん聴く）・楽器演奏（基礎や楽曲を毎日さらう）の3点をバランス良くやるのが練習です。しかし、人格が出来ていないと何も出来ません。



◎姿勢を良くしましょう。演奏する時正しい姿勢でないと、スムーズに息や体の動きが悪くなり健康にもよくありません。物事を進めるにも姿勢はとても大切です。



◎暗譜をしましょう。楽譜を覚えることを暗譜といいます。本番などで指揮や周りの奏者などの集中を高めたり、聴衆に表情良く音楽を聴かせるために大切なことです。



◎演奏する時は、一定のリズム感覚、音程感覚を身につけ、あせらずに演奏しましょう。鍛える時には、チューナーやメトロノームと一緒に演奏をして癖が無いように確かめましょう。



◎指揮棒に素早く反応するために、指揮棒の速さと、演奏する音（息、撥、弓）のスピードを合わせて、よいバランス、音程などの響きを合わせましょう。



◎休符は音に対する休みであって演奏の休みでは無いので、気を弛めなくて、しっかり音楽を感じて演奏して下さい。



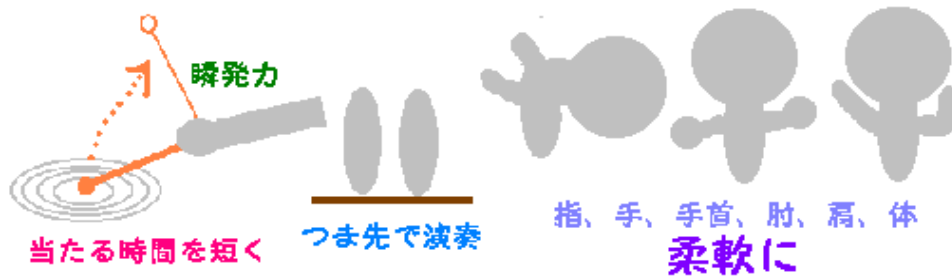
◎フォルテは力強く、アクセントはパンチのある音であって、怒鳴ったり、爆音を出す強引な音ではありません。



◎管楽器の演奏で大切なことは、息（ブレス）・口（アンブシュア）・舌（タンギング）・指（フィンガリング）の4つの鍵がそろって良い演奏が楽しめます。



◎打楽器奏者は、指、手、手首、肘、肩、体を柔軟に動かせるように鍛えて、マレットやスティック、打楽器どうしが当たる瞬間の時間が短くなるようにつま先で立ちながら瞬発力で打楽器を弾くようにしましょう。



◎周りの音を良く聴きましょう。出だし、響き、フレーズ、アーティキュレーション、パルス、後尾、リズム、音程、ブレンド、バランス・・・色々な音を聴いて統一の取れた演奏をめざしましょう。



◎楽譜は読めるようにしましょう。音譜や記号、楽語を覚えたり、初見が上達するように訓練することも大切です。スラスラ読めないと曲の出来が悪かったりバンドのレベルが落ちてしまいます。



◎打楽器の持ち方、運び方、組み立て方、手入れの仕方、さらに収納場所などを覚えましょう。打楽器は種類が多く、また、重い楽器などあり、皆で協力しないと時間がかかるので打楽器の人も勿論、管楽器の人もみんな覚えましょう。



◎楽器の手入れの仕方を覚えて、楽器をいつも清潔にしておきましょう。楽器がさびたり汚れがたまらないようにしておけば、いつも楽器は不都合なく演奏できます。



◎楽器を大事にしましょう。楽器が凹んだり、傷つくと、鳴りが悪くなったりします。また、修理代も高く場合によっては部品や楽器を交換しないと駄目なときがあるので、落としたり、ぶつけたり、倒れたりしないようにしっかり管理しましょう。



◎みんなで仲良くやっています。健康を害すと仲間が心配します。また、演奏会に欠けたりして信頼が薄れてしまいます。また、約束したことは必ず守りましょう。不都合などがあたらきちんと話し合いをして解決しましょう。協力、助け合い、励ましあうことができる仲間になりましょう。



◎社会でもっとも大事なことは感謝の心です。あいさつ、礼儀をしっかりしましょう。また丁寧な言葉づかいを覚えて何処へ行っても恥ずかしくない人になりましょう。

